



現役 合格者 の 声

2025



2025年4月採用

73名合格!!

(2025年1月20日現在 延べ数・卒業生含む)

〈内訳〉

小学校教諭	10名
特別支援学校教諭	4名
公立保育士・幼稚園教諭・保育教諭	24名
家庭科教諭(中学校・高等学校)	9名
音楽教諭(中学校・高等学校)	20名
行政栄養士	4名
栄養教諭	2名

心動かす心を知る。

くらしき作陽大学・作陽短期大学

中学校・高等学校
特別支援学校教諭
(音楽)

計**20**名合格!!

音楽学部音楽学科教育文化コース
音楽教育専修(オーボエ)

現役
合格

VOICE
1

加留部 葵さん

北九州市立高等学校出身

福岡県(中学校教諭)



生徒一人ひとりに寄り添い、
生徒と共に成長していける教員に

1年次より教員採用試験対策サークルに所属し、どんな時も熱心にサポートしてくださる先生方や、同じ目標に向けて頑張る同級生と励まし合いながら、4年間採用試験に向けて取り組みました。恵まれた環境下でたくさんの先生方に支えていただいたおかげで、入学当初からの将来の夢を実現できたと思います。

4月からの教員生活に不安もありますが、作陽での学びを大切に生徒と共に学び、共に成長していくことのできる教員を目指します。

音楽学部音楽学科演奏芸術コース
管打楽器専修(サクソフォン)

現役
合格

VOICE
2

小島 明莉さん

鳥取県立米子東高等学校出身

東京都(高等学校教諭)



音楽の楽しさを生徒へ

大学卒業後も音楽に関わっていくことのできる仕事に就きたいと思い、音楽教員を志すようになりました。受験勉強のスタートが遅く不安もありましたが、夏の教員採用試験対策をはじめとしたさまざまな講座で、多くの先生方にサポートしていただき、充実した受験期間を過ごすことができました。4年間の学びを生かし、生徒に音楽の良さを伝えることのできる教員を目指したいと思います。

音楽学部音楽学科演奏芸術コース
管打楽器専修(ホルン)

現役
合格

VOICE
3

土井 絵利菜さん

熊本県立玉名工業高等学校出身

熊本県(中学校教諭)



生徒とともに音楽を楽しむ教員に

大学での先生との出会いがきっかけで教員を目指すようになりました。目指し始めた時期がほかの人よりも遅かったのですが、たくさんの先生方や同じ目標を持つ仲間とともに、模擬授業や弾き歌い、面接などさまざまな試験対策を行ってきました。恵まれた環境のおかげで自分の癖や苦手分野に気付くことができ、自信をもって試験に取り組むことができました。卒業後も学び続けることを忘れず、生徒とともに音楽を楽しむことのできる教員を目指します。

音楽学部音楽学科演奏芸術コース
作曲・指揮専修(作曲)

現役
合格

VOICE
4

安藤 僚汰さん

香川県立観音寺第一高等学校出身

香川県(中学校教諭)



生徒の成長・努力に気付く教員に

私が最初に音楽の教員を志した理由は、お世話になった先生のピアノの上手さに漠然と憧れたからです。そして大学4年間でその夢が具体性を帯び、その夢をかなえることができたのは、教員養成に力を入れているくらしき作陽大学で学べたおかげです。

同じ目標を持つ学生が集まって模擬授業を行ったり、試験対策の問題を解いたりした日々は、試験に臨む大きな自信に繋がりました。教員となっても常に生徒とともに、そして生徒からも学び続け、音楽の楽しさ満載の授業を行うことが目標です。

音楽学部音楽学科教育文化コース
音楽教育専修(ピアノ)

現役
合格

VOICE
5

竹ノ下 暖さん

岡山県立岡山城東高等学校出身

神戸市(中学校教諭)



生徒とともに成長する教員を目指します!

同じ目標を持つ仲間と学び合い、先生方の手厚いサポートを受けられる恵まれた環境の中で、充実した4年間を過ごしました。はじめは難しいと感じていたことも、教員採用試験対策サークルや講座を通じて自信を持てるようになりました。また、作陽では多くの演奏会に出演する機会があり、専攻楽器の技術も向上させることができました。これら全ての経験が自分の力を発揮する支えとなり、合格へとつながりました。これからも初心を忘れず学び続ける姿勢を大切にし、生徒とともに成長する教師を目指します。

音楽学部音楽学科教育文化コース
音楽教育専修(ピアノ)

現役
合格

VOICE
6

樋高 佑菜さん

広島県立福山誠之館高等学校出身

広島県(中学校教諭)



生徒一人ひとりに寄り添い、
良さを引き出すことのできる教員

教員採用試験対策講座に参加し、同じ目標を持つ友人たちや、熱心に指導してくださる先生方の手厚いサポートで筆記試験や面接・実技試験、そして模擬授業など、さまざまな試験対策を頑張ってきました。特に印象的だったのは作編曲対策や箏の対策です。これらの分野は、一人では何から手を付けてよいかわからず不安でいっぱいでした。しかし、親身な指導のおかげで、徐々に自信をつけることができ、試験本番は落ち着いて臨むことができました。

卒業後は、日々の生活から生徒たちと積極的に関わり、一人ひとりに寄り添いながら、生徒の良さを引き出すことのできる教員を目指していきたいと思っています。

音楽学部音楽学科教育文化コース
音楽教育専修(ピアノ)

現役
合格

VOICE
7

藤原 彩花さん

私立精華学園高等学校出身

鳥取県(中学校教諭)



生徒たちの成長を見守りながら、
一緒に学び続ける教師

「中学校の先生」になることは大学へ入学した時からの大きな目標でした。そのため、1年生の時から教員採用試験対策講座に参加し、同じ目標に向かっていく先輩の背中を見ながら、4年間頑張ることができました。大学での学修は、決して順調に課題をこなせたわけではありませんが、壁に突き当たった時には、先生から親身なアドバイスや、熱心な指導があったからこそ夢がかなったと感謝しています。

4月からは学生時代の経験を活かして、生徒一人ひとりと向き合い、寄り添いながら成長をサポートできる「先生」になることのできるよう努力します。

VOICE
8

音楽学部音楽学科教育文化コース
音楽教育専修(フルート)

吉本 未来さん

岡山県立倉敷青陵高校出身

岡山市(中学校教諭)

現役
合格



生徒一人ひとりを、 より輝かせることのできる教員に

1年次から教採対策サークルに参加し、先輩方の大きな背中を必死に追いかけていました。勉強と実技の両立に苦戦したこともありましたが、先生方から温かいご指導をいただいたり、同じ目標に向かって頑張る仲間たちと切磋琢磨し、恵まれた環境の中で努力を続けることができました。4年間を通して、演奏者としても、教育者を目指す人間としても大きく成長することができたと感じています。

卒業後は生徒一人ひとりの良さを見つけ、さらに輝かせることのできる教員を目指します。

VOICE
9

音楽学部音楽学科教育文化コース
音楽教育専修(トランペット)

辰嶋 杏音さん

福岡県立田川高等学校出身

福岡県(中学校教諭)

現役
合格



生徒一人ひとりの個性を活かせる教師に

中学時代の音楽の先生に憧れて「こんな先生になりたい!」と教師を目指し始めました。大学では、熱心にズバズバと指導して下さる先生方との出会いや、採用試験対策講座などを積極的に受けました。そこでは、自分の音楽的知識や指導力を高めると同時に、生徒一人ひとりに対してどのように向き合い、支援するかを深く考えるようになりました。4月からは音楽の授業などを通じて生徒たちの感性を豊かに、そして一人ひとりの個性を大事に育てることのできる教師になりたいと思っています。

小学校教諭

計 **10** 名合格!!



VOICE
10

子ども教育学部 子ども教育学科
小学校・特別支援学校コース

栗本 莉衣さん

岡山県立新見高等学校出身

岡山県(小学校教諭)

現役
合格



児童一人ひとりに寄り添うことが できる教員へ

私は、繰り返し過去問題を解くことで、自分の苦手なところを把握することができました。自分でまとめノートをつくり、苦手な部分を何度も見返すことで、知識を整理しました。採用試験対策では、各先生方の専門分野講座や春期講座・夏期講座などいろいろな講座に参加しました。講座では模擬授業や面接での対応力を学び、その学びを試験当日に発揮することができました。細かい部分まで丁寧にご指導してくださった先生方に感謝しています。私は、児童と一緒に遊んだり悩んだりすることで、変化や成長、ささいなことに気づき、寄り添っていきたいです。そして一人ひとりの気持ちをしっかりと受け止め、一緒に成長することのできる教員を目指します。

VOICE
11

子ども教育学部 子ども教育学科
小学校・特別支援学校コース

中野 太智さん

岡山県立笠岡高等学校出身

岡山県(小学校教諭)

現役
合格



子どもの目線に立って関わることのできる 教員を目指します

私は、勉強のやり方を工夫しました。YouTubeで法律や小学校全科の問題を流し、お風呂や移動の時間も効率的に勉強しました。スマホを使用することで、勉強へのハードルを下げ、いつでもどこでも勉強できる環境をつくりました。また、各自治体の傾向を捉え、幅広く勉強することでどのような形式の問題にも対応できるようになりました。大学に在学中、塾でのアルバイトを通して、学年ごとの児童観をつかむことができました。子どもたちの目線に立って関わることで、信頼関係を築けると思っています。そして子どもたちを理解し、行動することで引っ張っていくことよりも、子どものやりたいことを尊重し、サポートできるような教員になりたいです。

VOICE
12

子ども教育学部 子ども教育学科
小学校・特別支援学校コース

湯栗 愛さん

岡山県立高梁高等学校出身

岡山県(小学校教諭)

現役
合格



子どもたちが自立できるような メリハリのある教育を

私は、自立した児童を育てたいという思いから、小学校の教員を目指すようになりました。大学では模擬授業や実習、面接練習を重ねる中で、自分が目指す教員とはどのようなものか、そして児童により良い学びを提供するためには何が必要なのかを考えてようになりました。その結果、自分なりの教育方法の基盤を少しずつ確立していきました。その過程では、児童が正しいことと悪いことをしっかりと判断できる力を身につけることが重要であると感じるようになりました。もちろん児童との心の距離は近くでありたいですが、接しやすくともしっかりメリハリを大事にした小学校教育を進めていきたいと思っています。

VOICE
13

子ども教育学部 子ども教育学科
小学校・特別支援学校コース

渡辺 夏奈さん

広島県立福山明王台高等学校出身

広島県(小学校教諭)

現役
合格



子どもたちと共に成長できる教員を 目指します

教員として、一人の人として尊敬される存在になりたいです。子どもたちのすてきな一面、良いところ、頑張っているところに目を向け、そんな部分を伸ばしていけるように子どもたちと関わっていきます。面接や模擬授業がうまくいかず、くじけそうになることもありましたが、根気強くご指導してくださり、最後までやりきることができました。支えてくださった先生や友人がいたからこそ、採用試験の合格があります。これからも周りの方への感謝の気持ちを忘れず、子どもたちと一緒に成長していきたいです。

特別支援学校教諭

計4名合格!!

子ども教育学部 子ども教育学科
小学校・特別支援学校コース

VOICE
14

永井 歩大さん

広島県立大門高等学校出身

広島県(特別支援学校教諭)

現役
合格



子どもと本気で向き合える教員に

教員採用試験には、「仲間と乗り越える」という気持ちで臨みました。また、採用試験対策では、アウトプットすることを大切にし、さまざまな勉強を友人たちと取り組みました。

特別支援教育ラボの活動では、子どもたちの「自立」に向け、子どもたちが、自分自身でできることの幅を広げ、人や場所が変わっても行動できるようになるための活動内容を考えてきました。春からは特別支援学校教諭として、特別支援ラボで子どもたちの実態に触れた経験を活かし、子どもたちが、少しずつできることを増やしていけるような教育を実施していきたいと考えています。

子ども教育学部 子ども教育学科
小学校・特別支援学校コース

VOICE
15

野下 創来さん

私立日本文理大付属高等学校出身

大分県(特別支援学校教諭)

現役
合格



子ども一人ひとりに適切な支援を行い、成長の手助けをすることができる教員に

私は重度・重複障害のある子どもたちの教育に強い関心を持っています。大学在学中は、特別支援教育ラボに所属し、学内の活動だけでなく外部のボランティアにも積極的に参加することで、実際の現場の雰囲気や感覚を直接感じながら学びを深めてきました。これらの経験は、採用試験の準備にも大いに役立ちました。授業や講座などの座学で学んだ知識を現場で実践することで、体で覚えることができ、学びがより定着しました。実際に講座で出題された問題が採用試験でも出題された際は、本当に対策をしてきて良かったと思いました。大学で学んだことを活かして、子どもの成長を優しく見守り支えることができる教員になりたいです。

子ども教育学部 子ども教育学科
小学校・特別支援学校コース

VOICE
16

吉岡 美典さん

島根県立松江東高等学校出身

島根県(特別支援学校教諭)

現役
合格



家庭や地域と連携を取り、子どもに寄り添える教員へ

春と夏に行われた面接対策講座がとても学びになりました。面接練習は一人では難しく、相手がいることで緊張感を持ち、自分の癖に気づくことができます。さまざまな質問を何度も練習することで、どんな質問をされても答えられるようになりました。私は、子どもの興味関心に目を向け、耳を傾け、寄り添える教員を目指します。より良い授業を行うためには、家庭や地域との連携が欠かせないと思います。さまざまな方と交流をし、意見を出し合い、子どもたちにとってより良い授業、クラスをつくりたいです。

子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース

VOICE
17

吉門 未唯菜さん

高知県立岡豊高等学校出身

高知県(特別支援学校教諭)

現役
合格



常に愛情あふれ、子どもたちの良さを伸ばすことができる教員に

私が受験した高知県の採用試験は、他府県に比べて非常に早い時期に実施されたため、準備に苦労しました。ほとんどの試験対策を一人で行わなければならない、自分でルールを作り、それを徹底しながら勉強に励みました。そんな中で、先生方の存在が本当に大きな支えになりました。先生方はとにかく全力で応援し、サポートしてくださいました。勉強を継続できるように環境を整えてくださり、モチベーションが上がる言葉をかけてくださることで、試験に向けた日々を楽しく乗り越えることができました。私も将来は、先生方のように愛情を持ち、子どもたち一人ひとりの良さを見つけ、それを伸ばせる教員になりたいと思っています。常に子どもたちの成長を第一に考えながら、全力で支え、見守る存在を目指していきます。

公立保育士・幼稚園教諭 保育教諭

計24名合格!!

子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース

VOICE
18

荒井 美月さん

私立作陽学園高等学校出身

岡山県瀬戸内市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格



憧れの先生みたいになりたい!

採用試験の4ヶ月前から対策を開始し、特に「素話」については、同じ進路を目指す仲間と練習を重ねながらしっかりと準備を進めました。また、自分で暗記カードやノートを作成し、工夫を凝らした学習方法で効率的な勉強を心がけました。私は、3歳の頃の担任の先生との出会いをきっかけに、保育士を目指す夢を抱き続けてきました。今後は、子どもや保護者の方々から信頼され、子どもの成長を心から喜び、寄り添える保育者になりたいと考えています。

子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース

VOICE
19

梅澤 鈴香さん

広島県立神辺旭高等学校出身

広島県福山市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格



子どもたちが気軽に声のかけられる先生になりたいです

当初、採用試験は例年通り9月に実施されると思っていたのですが、急きょ3カ月前倒しになることが決まり、大慌てで準備を始めました。そのため、本格的に集中して勉強した期間は約2カ月でした。限られた時間の中で効率的に学ぶ必要があったため、学校にあった模試の問題を繰り返し解き、完璧にできるようになるまで取り組みました。面接対策については友人と一緒に練習を重ね、客観的にフィードバックをもらうことで、自分の良い点や改善が必要な点を理解することができました。その結果、自信を持って試験本番に臨むことができました。

将来は、子どもたちの目線に立ち、一人ひとりに寄り添うことを大切にしたいと考えています。

VOICE
20子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース**ト部 杏奈さん**

広島県立大門高等学校出身

広島県福山市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格**温かい雰囲気子どもたちと保護者に
安心感を与えられる保育者になりたい**

私は、温かい雰囲気を大切にし、子どもたちだけでなく保護者にも安心感を与えられる保育者になりたいと思っています。保護者は日々の子育ての中でさまざまな不安を抱えていることが多いと考えています。そうした不安を少しでも取り除き、支えられる保育者を目指しています。大学では、保育の基礎を学ぶ中で、保護者が子育てにおいて抱える不安について学びました。この学びを通じて、保育者の役割は、子どもたちの成長を支えるだけでなく、保護者にとっても安心できる存在であるべきだと考えるようになりました。大学で学んだ専門知識を活かし、子どもたち一人ひとりに寄り添うとともに、保護者にも適切なアドバイスやサポートを提供していきたいです。

VOICE
21子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース**遠藤 悠月さん**

私立おかやま山陽高等学校出身

岡山県浅口市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格**学び続ける保育者に**

私は大学在学中、知識を深めることを大切にしながら、現場で活かせる実践力を磨くことに努めてきました。大学では子ども教育学部附属児童文化部「ばれっと」に所属し、保育園や子ども園、児童館、子育て支援センターでの公演活動に参加しました。そのほか、小学校、子ども食堂、特別支援学校でのボランティア活動にも積極的に携わり、子どもたちと接する力を培ってきました。これらの活動を通じて得た経験は、採用試験の際にも大いに役立ちました。そして採用試験前には、先生方から模擬試験や試験対策指導を熱心にご指導いただき、そのおかげで保育に関する総合力をさらに高めることができたと思います。私は「学び続ける先生」を目指しています。大学卒業前ですが、セミナーやボランティアなどにも積極的に参加し、就職後に活かせる力を育むことを心がけています。これまでの経験を糧に、子どもたちにより良い保育や教育を提供するためにはどうすればよいのかを常に考え、自信を持ちながら学び続ける保育者を目指して頑張ります。

VOICE
22子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース**小井 美由子さん**

岡山県立総社高等学校出身

岡山県総社市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格**子どもたちの良いところを
伸ばせる先生を目指します**

自分の強みは、人の良いところを見つけることだと思っています。自分の強みを活かせるような保育士になりたいと思い、頑張りました。大学生活では、自身の良いところをさらに伸ばせるように工夫しながら勉強に取り組みました。専門科目については、友人に協力してもらい、クイズ形式で問題を出してもらうなど、楽しく学べる方法を取り入れました。また、弾き歌いなどの実技科目では、自分自身が心から楽しむことを意識し、その姿勢が結果的にスキル向上につながったと感じています。将来、保育者として働く際には、子どもたちの良い点に目を向け、その個性や感情に寄り添った保育を心掛けたと思っています。子どもたち一人ひとりに愛情を注ぎながら、その成長を見守り、支えることのできる先生を目指します。

VOICE
23子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース**甲斐 菜月さん**

広島県立神辺旭高等学校出身

広島県福山市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格**多様なアプローチで豊かな保育を
実現するために**

私は採用試験対策では、特に面接対策に力をいれました。「どんな保育士になりたいのか」ということを深く考え、それを自分の言葉で伝えられるよう、何度も練習をしました。その結果、試験では自分の思いをしっかりと伝えることができました。これも、手厚くサポートしていただいた先生方のおかげです。保育現場では何が必要とされているのか、子どもたちや保護者は何を求めているのか、などの保育の根幹について丁寧に教えていただきました。また、私自身の個性にあった保育観を一緒に考えていただいたことで、視野を広げることができました。先生のアドバイスを大切に、将来はさまざまな観点からアプローチできる保育者を目指していきたいと思っています。

VOICE
24子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース**金平 若菜さん**

岡山県立倉敷中央高等学校出身

岡山県倉敷市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格**子どもの気持ちをくみ取り、
信頼される教員に**

試験対策を進める中で、大学の先生方大変お世話になりました。音楽に関するレクチャーや面接対策などの講座では丁寧に教えていただき、ノウハウを習得することができました。SPI対策については、先生のアドバイスを聞き、参考書を活用して繰り返し問題を解くことを心がけました。試験対策の期間は辛く感じることも多くありましたが、友人たちと一緒に勉強に取り組める環境があったおかげで、挫折することなく継続的に学習を進めることができました。今後は教員として子どもたちに寄り添い、頼りとされる教員になりたいと思っています。

VOICE
25子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース**喜多川 亜美さん**

私立出雲北稜高等学校出身

島根県出雲市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格**「つながり」を大切にした保育者でありたい**

採用試験の勉強を進める中では、「できることを確実にやる」という姿勢を大切に取り組んできました。試験の内容は非常に幅広く、初めて見る問題も多々ありましたが、何でも問題を解き直し、確実に解けるように努力を重ねました。地道な作業でもとても大変でしたが、努力した時間は決して裏切らないということを実感しました。私は、人とのつながりを大切にできる保育者を目指しています。幼い頃から地域の方々から親切にいただいた経験を通じて、自分も人に親切にし、出会った人々とのつながりを大事にすることを心がけてきました。保育者になった際には、地域全体で子どもたちの成長を見守り、支えることができるような環境づくりに貢献していきたいと考えています。

VOICE
26子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース**笹部 心詩さん**

岡山県立高梁高等学校出身

岡山県倉敷市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格**子どもにも保護者にも寄り添える
保育者になりたいです**

私は試験対策にあたり、一人で取り組む時間と、友人や先生と協力する時間のバランスを意識しました。一次試験ではSPI試験が課されていたため、特に自分自身の時間を確保して集中して勉強することを大切にしました。二次試験では面接や実技試験があったため、友人や先生に協力をお願いし、動画を撮影してもらい、それを見返しながら改善点を見つけるなどの対策を進めました。これから保育者になるまでの間、子どもたちを見守る洞察力や、コミュニケーション力、適切な言葉遣いを身につけることを心がけ、日々努力を重ねていきたいと思っています。

VOICE
27子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース**高橋 さくらさん**

岡山県立総社高等学校出身

広島県福山市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格**子どもたちが自己肯定感を
高められるような保育者を目指します**

私は大学1年生の時から実践力を高めるために、地元の保育所やくらしき作陽大学附属認定こども園でボランティアに取り組んできました。現場の保育士の方が子ども一人ひとりとどのように関わっているのかなどを目で見て学び、実際に自分も実践することでより深い学びとなりました。教員採用試験の勉強は、大学3年生の後期から計画を立てて勉強や試験対策を行いました。分からないことは積極的に先生や友人に聞くことで、自身の課題を改善していききました。大学の授業やボランティア活動を通して、子どもたちにとって「自己肯定感」が最も大切なことを実感しました。子どもと関わる際には、「すごいね、できたね。」など褒めることを忘れず、子どもたちが大人になっても自己を肯定できるような保育をしていきたいです。

VOICE
28子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース**肥後 杏美さん**

広島県立三原高等学校出身

広島県三原市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格**笑顔のあふれる保育を目指して**

私は早い段階から試験対策に取り組んできました。3年生の12月からは、先生が行っているSPI対策講座に週1~2回のペースで通い始めました。最初は慣れずに問題を解くのに苦労しましたが、何度も繰り返し解くことや、先生のアドバイスを忠実に実践することで次第に対応力が身につく、自信を持って試験本番に臨むことができました。また、実技試験についても先生方から何度も指導をいただき、課題の改善に努めました。この経験を通じて、努力を重ねる大切さを実感することができました。今後は保育士としてスキルを磨き続け、子どもたちが笑顔になれるような保育をしていきたいと考えています。

VOICE
29子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース**福田 真夕さん**

山口県立下松高等学校出身

岡山県倉敷市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格**子どもに寄り添い、
一緒にいて安心できる保育者へ**

実習では、自ら積極的に子どもたちと関わりながら、気づいた点や自身の課題を日誌にまとめることで、学びを深めました。また、長期休暇中には学外の保育施設でのボランティアに参加し、より実践的な力を養いました。さらに、対策講座では、少し苦手だったピアノの弾き歌いやリズム表現などに取り組み、「自分が楽しむことが子どもたちを楽しませることにつながる」という大切な気づきを得ました。今後は保育者として、自分自身も楽しみながら、子どもたちが安心して過ごせる環境を提供していきたいと考えています。

VOICE
30子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース**藤田 桃香さん**

岡山県立総社高等学校出身

岡山県総社市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格**子どものことを一番に考え、
共に成長できる保育者に**

試験を受けるにあたり、正直不安な気持ちが大きかったです。そんな中、友人と一緒に学習を進めたり、先生にお願いして対策を立てていただいたりすることで、着実に自信をつけることができました。特に模擬保育の際には、「先生から『実際の子どもの姿を想像しながら、楽しく笑顔で接することが大切』というアドバイスをもらい、日々この言葉を意識しながら学びを深めました。励まし合える仲間や親身になって支えてくださる先生方のおかげで、最後まで頑張り抜くことができました。これからは、保育者として子どもの気持ちに寄り添いながら、自分自身も日々成長し続けたいと思います。

VOICE
31子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース**真壁 珠々葉さん**

岡山県立新見高等学校出身

岡山県倉敷市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格**地元の自然と音楽を活かし、
子どもの豊かな感性を育む**

私は教員採用試験対策講座を最大限に活用し、試験に臨みました。対策講座では、面接対策、実技対策、SPI対策といった各分野において、それぞれの担当の先生方が非常に熱心で丁寧な指導していただきました。分からない部分についてはすぐに質問でき、明確な解説をいただけたおかげで、苦手な部分を確実に克服することができました。大学卒業後、保育士になりますが、これまでに10年以上続けてきたピアノの経験や、自然豊かな環境で育った経験を活かし、子どもたちの豊かな感性を育む保育をしていきたいと考えています。

VOICE
32子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース**矢部 理奈さん**

岡山県立倉敷中央高等学校出身

岡山県倉敷市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格**子どもたちの個性を大切に
する保育者へ**

採用試験を乗り越えられたのは、一緒に頑張ってくれる仲間がいたからです。先生や仲間と一緒に勉強や練習をすることで、自分では気づけない新たな発見がありました。リズム表現の振り付けや面接の話方、内容などたくさんを教えてくださいました。最初は不安なこともありましたが、何度も繰り返し練習をすることで自信が付き、採用試験に挑むことができました。私は、子ども一人ひとりの特性を理解し、その子に合った声掛けや対応ができる保育者を目指します。そのため、在学中に特別支援学校教諭免許状の取得や子どもと関われるボランティアに積極的に参加し、知識の習得と実践的に子どもと関われる時間を増やし、学んできました。これからは子どもの目線に立って一人ひとりと関われる保育者を目指します。

VOICE
33子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース**輪田 瑞葵さん**

岡山県立岡山一宮高等学校出身

兵庫県姫路市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格**子どもたちの多様な個性を生かした
楽しい保育を提供したい**

私は大学生活において、「臨機応変に対応すること」を心がけてきました。普段の学びでは知識をインプットすることも重要ですが、同時にアウトプットすることも欠かせません。特に採用試験においては、面接や実技の場面で学んだことを臨機応変に表現する力が求められます。そのため、日頃から学んだことを言葉にしたり、実践したり、人に伝えたりすることを繰り返し行うことで、試験にも難なく望むことができました。また、大学での学びは私生活における人間関係の構築にも大いに役立ちました。人はそれぞれ性格や個性が異なります。相手が何を考え、何を求めているのかを意識しながら行動することで、友人や家族、新しく出会う人々と円滑なコミュニケーションを取ることができました。保育士になってもこの臨機応変さを心がけ、子ども一人ひとりに向き合っていきたいと思っています。

VOICE
34子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース**渡辺 珠実さん**

岡山県立玉島高等学校出身

岡山県倉敷市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格**子どもにも保護者にも頼ってもらえる
保育者に**

私は、保育に関わる時間をできる限り多く過ごしてきました。大学では、実習や勉強、試験対策に取り組む忙しい日々の中で、必要なスキルを磨いてきました。特にピアノやリズム表現の対策では、先生方の熱心な指導を受けながら、子どもたちがどのようにすれば楽しんでくれるかを常に考え、表現のバリエーションを増やすことに力を注ぎました。また、学外では学童保育や保育園でのアルバイトに取り組み、子どもと一緒に、子育てでサロンのボランティアにも参加し、実践的に学んできました。これらの経験を通じて学んだことを活かし、保育のスペシャリストとして、子どもたちや保護者の方々から信頼される存在になりたいです。

VOICE
35子ども教育学部 子ども教育学科
保育園・幼稚園コース**園田 百合乃さん**

私立大分東明高等学校出身

大分県大分市(保育士・幼稚園教諭)

現役
合格**子どもたちの心に寄り添い、その思いを
受け止め共に感じられる保育者に**

子どもたちがうれしい時には一緒に喜び、悲しい時、悔しい時には気持ちに寄り添い共感できる保育者を目指しています。そんな保育者を目指すために、早い段階から試験勉強に取り組みました。SPIや専門科目、面接練習では先生の熱心なサポートを受けることができ、安心して試験に臨むことができました。また、くらしき作陽大学の対策講座は内容が充実していて、仲間と一緒に頑張れる環境が整っています。卒業後も学び続ける姿勢を忘れず、保育者としてのスキルを磨き続け、子どもの笑顔があふれる保育を実践していきたいと考えています。

栄養教諭・家庭科教諭

計11名合格!!

行政栄養士

計4名合格!!

VOICE
36

食文化学部 現代食文化学科

富川 萌恵さん

岡山県立岡山南高等学校出身

岡山県(高校家庭科教諭)



憧れの先生のように、生徒に寄り添う教育を

高校時代、親身になって寄り添ってくれた家庭科の先生に憧れ、教員を目指すようになりました。しかし、その道は楽ではありませんでした。多くの知識を身につける必要があり、苦労することもありましたが、大学では採用試験対策講座が開講され、模擬授業やグループワーク、実技試験対策などを通じて効率的に学びを深めることができました。そして、一番印象に残っているのは、現役家庭科教員の先輩方に来ていただき、お話を伺ったことです。実際の仕事内容ややりがいについて教えていただき、より家庭科教員になりたいという思いが強くなりました。憧れの先生を目指し、「感謝」「謙虚」「研鑽」の言葉を胸に教員として頑張っていきたいと思えます。

VOICE
37

食文化学部 現代食文化学科

藤井 優里さん

岡山県立井原高等学校出身

岡山県(高校家庭科教諭)



「チームくらしき作陽」で得た力を学校現場で活かします

大学では、教員採用試験に向けて、仲間たちと団結して試験に臨む風潮がありました。特に、夏季と冬季には教員試験対策講座が開講され、過去問題の演習や模擬授業、実技試験の対策に取り組みました。その際、多くの仲間とお互いに切磋琢磨しながら学び合い、まるで一つのチームのように助け合いながら採用試験に臨みました。熱心に寄り添って指導してくださる先生方、支え合える仲間たちの存在は、私にとって大きな力となりました。家庭科の教員として、生徒一人ひとりに愛情と責任感を持ち、真摯に向き合うことのできる教員を目指していきます。

VOICE
38

食文化学部 栄養学科

井上 文乃さん

愛媛県立八幡浜高等学校出身

愛媛県砥部町役場(行政栄養士)



人々の健康寿命を延ばし、充実した人生をサポートできるような行政栄養士に

私は、採用試験の2カ月前から本腰を入れて教養試験対策に取り組みました。この期間はアルバイトやその他の予定を一切入れず、勉強に専念しました。平日は3~4時間、休日は10時間ほど勉強に時間を費やしました。時にはつらいと感じることもありましたが、計画的に学習を進めることで、集中すべき時とリフレッシュする時の切り替えをしっかりと行うことができたと思えます。行政栄養士になることに対する不安もありますが、将来は少しでも多くの人の役に立てるような行政栄養士になれるよう頑張りたいです。

VOICE
39

食文化学部 栄養学科

平松 愛海さん

岡山県立高梁高等学校出身

高梁市役所(行政栄養士)



地元の活性化に貢献し、市民の方から信頼される行政栄養士を目指します

私は地元の行政栄養士になる予定です。元々、高校は家政科の出身で、学ぶ内容がかなり変わり大変でしたが、同じ道を目指す友人と一緒に学びを深めることで楽しく勉強を進めることができました。その甲斐あってか、栄養士免許、管理栄養士免許、食品衛生管理者、食品衛生監視者の資格と免許を取得することができました。今後は地元で信頼される行政栄養士になるため、知識を身につけながら、地域の健康づくりに貢献していきたいです。

VOICE
40

食文化学部 栄養学科

村上 ゆいさん

愛媛県立今治西高等学校出身

松山市役所(行政栄養士)



市民の声に耳を傾け、一人ひとりのライフステージにあった食環境整備を行いたいです

行政栄養士を目指すにあたって、公衆栄養学での実践力を向上させたいと考え、「若年者の食生活の実態調査と課題解決の方策について」というテーマで卒業研究に取り組みました。そのなかでは、料理教室の開催や大学祭模擬店の出店などを通じて問題解決へのアプローチを検討したりしました。学びのなかでは、健康課題は性別や年齢だけでなく、生活習慣や地域性を考慮しながら原因を究明することが求められることを知り、自身の主観だけでなく、広い視野で物事を捉えることが必要だということを理解しました。行政栄養士は法改正や配属先の環境によって内容や役割が変わることがあります。そのため、常に最新の情報にアンテナを向けながら、自身の知識やスキルを磨き続けることを心掛けたいと思えます。





くらしき作陽大学
作陽短期大学